

## 持続可能な農業の推進

主管課 市民経済部 産業経済課

## 目指す姿

農業環境の充実を図り、地域の特性を生かした魅力ある農業のまちを目指します。

## 目標指標

No	指標名	現状値 (2021)	目標値 (2027)
1	新規就農者数(年)	4人	8人
2	若手農業者による市内産農産物販売会開催数(年)	11回	12回
3	担い手への農地集積率	45.0%	66.0%
4	農道の舗装整備率	24.9%	33.0%
5	農機シェアリング登録者数(累計)	18人	36人

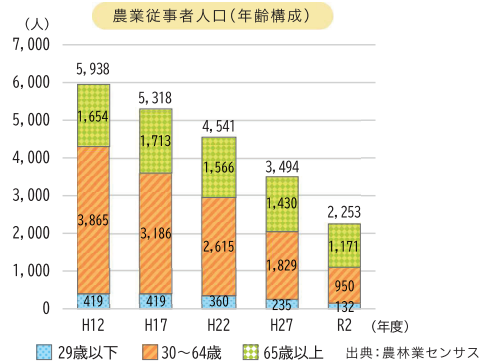
## 現状と課題

全国的な農業従事者の高齢化や後継者不足が顕在化する中で、本市では露地栽培を中心に就農相談件数が増加しています。就農者を増やすべく、農業体験ができる環境整備を進めるとともに、新規就農のハードルが高い水稲・ハウス栽培への新規参入につながるサポートの充実が求められています。

また、農業従事者の所得向上に向けて、経営規模の拡大が求められていますが、作業効率の悪い農地は借り手が見つからずに耕作放棄地となるケースが多く、農道や圃場環境整備\*を含めた支援が求められています。

なお、これらの課題を解決していくためには、行政のみならず、企業と連携した包括的な支援体制などを構築し、持続的に実施していく必要があります。

さらに、古くから谷原三万石と呼ばれる米どころとして、本市農業を支えている水稲を持続的に発展させていくため、農業従事者の所得向上を目的として市内産米のPRや、消費の拡大を推進していく必要があります。



## キーワード

持続可能な農業 後継者不足 農業体験 新規就農 耕作放棄地  
スマート農業\* 収益性向上 農業生産基盤整備\*



関連計画 農業振興地域整備計画

## 取組方針

## 持続可能な農業支援体制の構築

スマート農業\*の推進、農産物の付加価値向上及び農業経営の活性化などを支援するための体制を整備し、農業の収益性を高めることで、次世代につながる農業を目指します。また、本市農業を支えている水稲を持続的に発展させていくため、市内産米のPRや、消費の拡大を推進していきます。

## 継続的な農業生産基盤整備の実施

農作業の効率化などを目的として耕作条件の改善を図るため、生産者及び地域による農業生産基盤の整備や保全、農地の集積や集約化を促進します。

## 農業を体験できる機会の提供

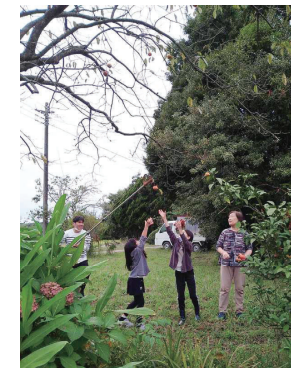
都市農村交流や農業体験事業などを通して、子どもから大人まで農業に興味関心を抱けるような機会を提供します。

## 新規就農支援体制の構築

企業や市内農業者などと連携して、就農相談、農地確保、農業機械の支援、技術研修などの継続した支援体制を構築することで新規就農を支援します。



浴衣を着て田んぼの前で一枚みらい写真



みんなで柿取り(みらい写真)

## わたしたち市民にできること

- 農地を適切に管理し、田園風景を大切にします。
- 実家や近所の農作業を手伝います。
- 地産地消\*を意識して、市内産農産物を購入します。
- 農業体験などのイベントに参加します。

